



60号

令和8年2/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553



文化祭を終えて

館長 竹本 和佳子

11月9日から11月16日にわたり、二中地区市民委員会主催の「第39回二中地区文化祭」がお天気にも恵まれ、盛大に開催されました。

期間中、各種同好会及び小中学生、地域の方々に展示していただきました文化芸術作品は皆、意欲作を出品していただき、その多彩さにびっくりするとともに、各出品者の日頃からの努力、鍛錬が思い図られて、正に文化芸術展にふさわしい、格調ある雰囲気となり多くの方々が見入っていました。

最終日の芸能大会では、同好会による各種演奏・演技（フラダンス、カラオケ、太極拳、大正琴、舞踊）、一般の方によるアコースティックギターやカラオケ、腹話術等が多彩に行われ、多くの方に拍手喝采を受けていました。また、玄関前では、フォークダンスやスクエアステップの発表があり、こちらも多くの方にお集まりいただきました。

屋外は各種多様な模擬店で賑わいました。二中地区文化祭の目玉として定着しております農産物の展示即売会には朝早くから行列ができ、その他煮いか、焼きそば、ポップコーン、綿あめ、豚汁、そば等もありました。子ども広場では、スーパードールすくい、チャレンジクラブ生による模擬店（焼き芋、フランクフルト、

赤飯等）があり、どの模擬店も大盛況でした。このように文化祭が盛大

に実施できました裏には、作品展示場所の設置、ステージ設置、模擬店設置等の準備、当日の係分担、後片付け等に二中地区市民委員会の皆様をはじめ、各町内会、民生委員、同

同好会紹介

面創会

山口 政男

生涯学習館の閉館に伴い、4月から二中地区公民館にお世話になっています。この会は、故、斉藤高夫先生が1993年に設立した常陸彫友会で、現在は他に二支部があります。ピーク時は50名を超えた会員数も今は20数名程です。我が面創会も20代から上は80代の7名で頑張っています。



好会や各種団体、農産物を提供してくださった農家組合の方々の献身的なお力によって支えられていたことを改めて思い、更に関係者の皆様のご協力に深く感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

会では神楽面を始め、能面、獅子頭木彫置物、板画等、手広く挑戦しています。制作工程には多くの技法が必要とされますが、会員同士の切磋琢磨、趣味同心の精神で、生涯現役を目指しています。又、やるなら楽しくやるをモットーにお茶とお菓子とお話の時間も大切にしております。楽しく過ごす人間は病気になるにきいます。おしゃべりをしながら良い面等が出来るなんて、最もお金のかからない健康法かもです。



農産物展示即売会

協力者

※順不同敬称略

◆木田余東

鳥羽 圭一 羽成 照昭

羽成ふさ子 吉田 信茂

松浦 安貢 鳥羽 博司

羽成 勇 殿岡 一男

◆木田余西

川島 一男 小野 俊雄

藤崎 久史 久松 正人

吉田 恵子

◆木田余中

野口 重典 殿岡 将男

久松 利光 小島 安雄

山本 徹夫

◆木田余沖

藤崎 孝一 小野 一男

黒田 昌幸 小野 丹生

高原 厚 小野 俊之

◆殿里東

菊田 泰弘

◆殿里西

岡田 寿夫

◆東真鍋

間中 浄 海老原 一郎

塚本 哲治 海老原 英夫

◆西真鍋

羽方 文彌 岩浪 英一

塙 和孝 軽部 信二

岩浪 信一

◆木田余東台

関森 四朗

土浦亀城刀剣会

亀山 栄二

土浦亀城刀剣会は、茨城県南部の土浦やつくば市を中心とする刀剣愛好家の団体で、土浦城の別名亀城にちなんで命名されています。日本における長い歴史の中で、日本刀が果たしてきた役割は精神文化を含め大変大いなるものがあります。

当会は、平成25年、公益財団法人「日本美術刀剣保存会協会」の協力団体として承認設立され、10年以上に渡り50回以上の定例会（日本刀鑑賞鑑定会）、刀装具（鍔、目貫、拵など）の鑑賞会を行い現在に至っています。

今後は日本刀の文化的価値、啓蒙、市民講座などを介して、日本刀文化の発展、交流に努めてまいります。12月には土浦藩藩士「心慶胤光を偲ぶ会」を催しました。



これは、他県地域の協力団体との協力も兼ねています。詳細は当会ホームページ（土浦亀城刀剣会）で検索をお願いします。

フラワー会

早川 泰子

生涯学習館が閉館になり、9月から活動の場を二中地区公民館に移しましたフラワー会です。

フラワーアレンジメントの中の

テーブルフラワーをメインに花のアレンジをしています。

それぞれの会員に同じ花材が届き、各々の感性でオアシスに挿し、形をアレンジしていきま

す。その後、五頭和子先生が、花材の特徴、長さ、向き、グリーンのあしらい、花々の活かし方等を教えて下



さりながら手直しをしてくださいます。最初の形を変ええる事なく私達のアレンジは一段と輝いてきます。これが一番の勉強になる時になります。出来上がった作品は、我が家の玄関を明るく色どり、私達の生活を楽しく豊かにしてくれています。

末筆ですが、これからよろしくお願ひします。（会員募集中）

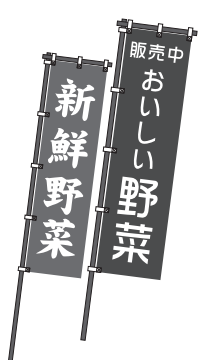
穂踊会

高瀬 淑乃

生涯学習館で新日本舞踊（歌謡曲）の講座が行われ、それが終わった時それに参加した人達の「もつと習いたい、続けたい」との要望が多かったため、穂踊会を結成し、正派若柳流の若柳久美穂先生のご指導のもと、お稽古を続け、早、20年も過ぎました。

お稽古を受ける時、先生は曲目の内容を説明して下さい、手や足のはこび、顔や体の向き等、事細かく指導してください。お稽古は体を動かし、頭を使い、心身共に健康にととても良い事だと思ひます。（ほけ防止にも）何時も和気あいあいとしみながら会員一同お稽古に励んでおります。また、老人ホームにてボランティア活動を行っております。踊りの好きな方、ご一緒にお稽古をしませんか。お仲間を募集しております。

即売会の様子



こども食堂特集

〈ふらっとキッチン〉

代表 峯山 涼子

地域で活動する管理栄養士・栄養士が運営している「みんなの食堂」です。赤ちゃんからお年寄りまで、多世代交流の場として、多くの方にご利用いただいています。

思いつき開催ではありませんが、キッチンで使う食材を事前に皆で仕込む「即席お料理教室」も行っています。今年は栗を煮たり、ジャムを作ったりと、季節の食材を使い楽しみました。

お陰様で、食材の寄付やボランティアなど、様々な方の助けに支えられて続けられています。

平日はスタッフがいない時に、お部屋を自由に使っていました。一人でのんびりしても、誰かとしゃべりしても大丈夫です。お散歩がてら「ふらっと」立ち寄ってもらえると嬉しいです。スタッフが不在になることもありますので、来所の際はお電話で確認いただけますと助かります。



開催日時

毎月第2又は第3日曜日

10時～14時まで

※会場前の掲示や公式LINEでお知らせしています。

090-7042-6577



真鍋3丁目9-2
ふらっとサロン

3日前までの事前予約制です。

〈わくわくキッチン〉

代表 山田 美穂

真鍋新町でこども食堂をさせて頂いている「わくわくキッチン」です。月に一度同じ釜の飯を食べましょうを合言葉に、子どもから高齢の方まで幅広い世代が気軽に利用できる場所になることをモットーに活動しております。

「わくわくキッチン」の運営にあたり、地域の方々からのご支援や社会福祉協議会からのご指導、そしてボランティアの皆様のお蔭で4周年を迎えようとしております。ひとりぼっちでのご飯を減らし、温かいご飯を皆で食べる環境を作っていけたらと思っています。

地域の皆様に「わくわく」を届け、人との繋がりがあまる明るいまちづくりの一助となれたらと思います。

開催日時

毎月第4日曜日

11時半～13時まで

※変更の可能性がある為、予めお問合せ下さい。

029-823-8168

真鍋新町7-16

天理教土浦分教会内

前日までの事前予約制です。希望者は、お弁当での持ち帰りも可能です。





花いっぱい運動コンクール及び グリーンカーテンコンテスト

優秀賞

環境部長

風野 安秀

私達環境部員は公民館職員の協力のもと、一丸となって「花いっぱい運動」及び「環境にやさしい緑のカーテンづくり」に取り組んで来ました。「第54回花いっぱい運動コンクール」及び「第13回グリーンカーテンコンテスト」審査において共に優秀賞を受賞することが出来ました。

花の咲く時期や色合いの工夫、気象変動による猛暑、日々の管理に注意を払いながら活動してきました。

咲き誇る花に水やり、手入れ作業をしていると公民館を利用される人々たちから「お花いつも綺麗ですね」と声をかけていただき、その言葉が励みになりました。また、室内の温度上昇を防ぎ快適に過ごせるように「ゴーヤ、ひょうたん」などを植え緑のカーテンを作りました。

今後も、公民館を利用される人たちが心穏やかな花壇、緑のカーテンづくりを通じて、より一層明るい心豊かなまちづくりに努め、活動してまいります。



市民体育祭の様子



令和7年度
後期公民館講座



知って備える！もしものときのがん講座



今日からはじめる！美腸活習慣



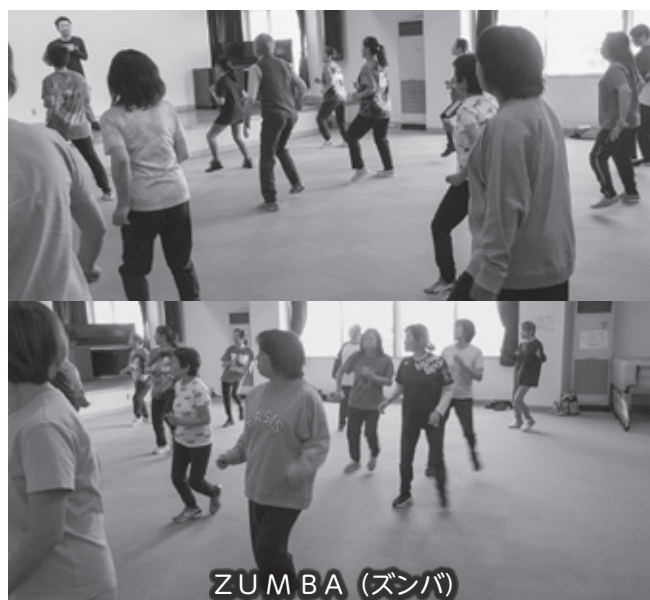
スマホ講座！写真とビデオの撮影・編集術



免疫力アップ！ヨガ



イタリアを感じよう ～イタリア料理～



ZUMBA (ズンバ)

公民館講座のご案内

公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせみてください。

チャレンジクラブの活動紹介

二中地区チャレンジクラブの今年度の様子をご紹介します。今年度、二中地区チャレンジクラブには、真鍋小学校から、4年生4名、5年生9名、6年生5名、土浦第二中学校から、7年生4名、8年生1名、合計23名の子どもたちが参加しました。5年生以上の子どもたちのほとんどが、昨年度も参加してくれていて特に中学生の多くの子が、4年生から続けて、または、5年生から続けて参加してくれました。

今年度おこなった活動は、全部で8回。

5月	開講式 モルック
6月	鉄道博物館見学 バランスボール
7月	ポンポン船
8月	絵手紙
9月	朝日里山学校でピザ作り いばらきフラワーパーク
10月	二中地区文化祭で模擬店 のお手伝い
11月	クリスマスリース
12月	閉講式

どれも楽しい活動ばかりでした。特に印象深かった活動をご紹介します。

①モルック

5月25日(日)におこなったモルック

クは、フィンランド発祥のスポーツで、木の棒(モルック)を投げて、地面に立たせた12本のピン(スキットル)を倒し、得点が、相手チームより早く50点ピッタリになったほうが勝ちというゲーム。この日は、男子チームが2つ、女子チームが1つの、3つのチームで戦いました。ほかに、この日ご来館されたお父さんお母さんチームと子どもチームとの対戦も組んでいただきました。



②鉄道博物館見学

6月7日(土)、二中地区公民館を8時に出発し、土浦北ICから常磐自動車道に乗り、三郷JCTを経由し、東京外環自動車道を走り、新都心西ICで下り、およそ2時間半で、鉄道博物館に到着しました。この日最初の活動は、本物の電車に似た運転台の椅子に座り、マスターコントローラーを操作しながら、電車の加速、減速、停止のしかたを学ぶ「運転士体験教室」でした。ほかに、鉄道ジオラマの見学もしました。鉄道ジオラマでは、長く繋がれた新幹線、特急電車、通勤電車の模型が何両も同時に走る光景は壮観でした。

③朝日里山学校といばらきフラワーパーク

10月18日(土)に、石岡市にあります朝日里山学校といばらきフラ

ワーパークに行きました。朝日里山学校ではピザ作りを体験し、いばらきフラワーパークでは、今の時期きれいに咲いているバラの花を見たり、スカイサイクルやスポーツスライドに乗ったり、お土産などを買ったりしました。



新着図書紹介

愛蔵版 国宝(上) 青春篇 吉田修一
愛蔵版 国宝(下) 花道篇 吉田修一
ブラック・ショーマンと覚醒する女たち 東野圭吾

藍を継ぐ海 伊予原新

ゲーテはすべてを言った 鈴木結生

Nの逸脱 夏木志朋

死んだ山田と教室 金子玲介

名探偵のままでいて 小西マサテル

名探偵じゃなくても 小西マサテル

フアラオの密室 白川尚史

科学的に証明されたすごい習慣大百科 堀田秀吾

【改訂版】本当の自由を手に入れる お金の大学 両@リベ大学長

70歳からのスマホの使いこなし術(2) 増田由紀

人に聞かず解決! ビジュアル版一冊でつかむ古事記・日本書紀 三橋健

ぼくのねごポー 岩瀬成子、松成真理子

大ピンチずかん3 鈴木のりたけ

パンどろぼつとりんごかめん 柴田ケイコ

やなせたかし物語 やなせスタジオ

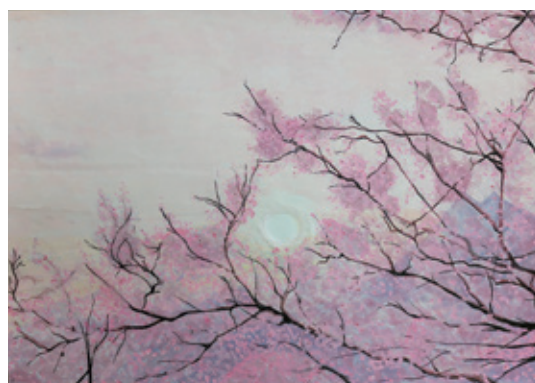
ぐんぐん考える力を育むよみきかせう

ちゅうのお話20 国立天文台、山下美樹

絵画コンクール「市の木・市の花・市の鳥」優秀賞



最優秀賞
土浦第二中学校
8年 中田 開大



優秀賞
土浦第二中学校
7年 高野 華奈



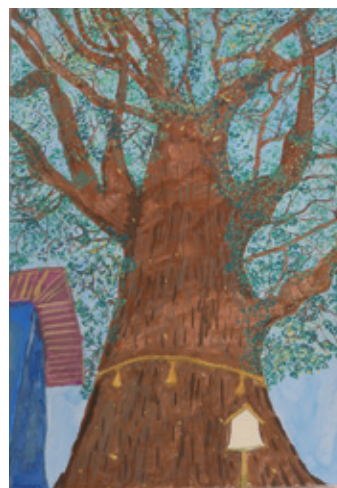
優秀賞
真鍋小学校
5年 池田 颯真



優秀賞
真鍋小学校
2年 櫻井 陸翔



優秀賞
真鍋小学校
4年 新関 大翔



優秀賞
真鍋小学校
3年 羽鳥 美央

編集部コラム

如月という 月の持つ意味



年が明けたと思ったら、もう二月。二月のことを、別名如月と呼ぶ。こうした呼び名を、和風月名と言うのだが、これには日本人の季節感とそれに伴う生活や行事等の移り変わりが反映している。しかも、その呼び名は、千年以上前から変わっていないというから、日本の伝統的な文化でもあるのだ。

さて、如月の持つ意味であるが、次の3つの意味説が有力である。

- ①衣更着 寒さが一段と増すので、衣を更に着るようになる。
- ②気更来 春が近付くため、陽気が更に明るく強くなってくる。
- ③生更木 春に向かって、樹木が更に生える。

現代的に解釈すれば、この3つの説は年齢や職業、立場によって正しいということはない。高齢の方ならまだまだ寒い季節だから、①になるであろうし、若い方なら春の装いの準備をするであろう。自宅の庭などに樹木がある方なら、③となるであろう。二月は観梅の季節である。

二中地区の皆さんにとって如月は、①②③のどれであろうか。季節と生活の変化を考えてみるのも面白い。

